

決算報告

平成23年度

西条市の一般会計、特別会計、企業会計

財政状況をお知らせします

決算のごあいさつ



西条市長
伊藤宏太郎

平成23年度の西条市の決算がまとまりましたので、お知らせします。

一般会計の決算額は、歳入452億6353万円、歳出428億1157万円で、差し引き24億5196万円の剰余（余り）となっています。このうち翌年度へ繰り越した事業に充てるための財源1億5272万円を除いた実質収支は、22億9924万円の黒字となっています。

各特別会計の決算状況やその概要は、別記（8ページ）のとおりとなっています。

平成23年度は、厳しい財政環境が続く中、東部一般廃棄物最終処分場を完成させ、また紺屋町商店街整備支援事業やまちづくり基盤整備事業などを計画的に実施するとともに、産業の振興や雇用の創出など、重要かつ緊急性の高い施策を厳選し、限られた財源を有効に活用しながら、市域全体の均衡ある発展とさらなる一体感の醸成に向けて、各種事業に取り組んでまいりました。

今後も効率的な行財政運営を基本に、「人がつどい、まちが輝く、快適環境実感都市」の実現に向け、全力を傾注してまいりますので、なお一層のご理解とご協力をお願いいたします。

予算・決算とは？

予算とは、1年間の収入（歳入）と支出（歳出）に関する見積もりをまとめた「計画」のことです。決算とは、実際の収支をまとめた「実績」に当たります。

市の会計は3種類

一般会計

福祉や教育、道路整備など、市政運営の基本となる会計です。

特別会計

国民健康保険や介護保険など、一般会計と区分する必要がある特定事業の会計です。

企業会計

企業経営という観点から、独立して経理する会計です。

※本文中の金額は、1万円未満を四捨五入しています。

市民1人当たりの計算は、平成24年3月31日現在の人口（113,845人）を基にしています。

平成23年度の主な事業

▶東部一般廃棄物最終処分場整備事業



▶次世代育成支援プロジェクト事業



（ビバ・スポーツセンターで開催された佐々木剛夫サッカー教室）

▶柚ノ木線道路改良事業



▶地域用水環境整備事業（大谷池周辺整備）

